

普及活動情勢報告（平成29年12月分）

高吾農業改良普及所

越知町で加工用わさびの栽培が始まりました



加工用わさびは越知町を中心に6戸72aで栽培されており、（公財）いの町農業公社で栽培された苗が11月27日に届きました。普及所はJAと苗の引き渡しに同行し、今年は充実した大きな苗であることを確認しました。

定植準備を済ませた農家は苗を見て「昨年より収穫量を増やすことができるのではないか」と期待していました。

加工用わさびは4月中旬から5月上旬にかけて出荷されます。今後も普及所はJAと巡回指導をし、安定生産と品質向上に向けて支援していきます。

高吾地域でいちご出荷始まる



管内のいちごは「ゆめのか」を中心に「さちのか」や「紅ほっぺ」が栽培されています。JAコスモス佐川いちご部会は12月11日に部会員では場を見学する園めぐりを実施しました。夫婦や親子の参加も多く、農家16戸が参加しました。

園めぐりでは摘果や栽培管理を確認し、出荷時の選別を目慣らしをしました。また、普及所は天敵を利用した防除体系や農薬のローテーション使用について説明しました。

普及所はこれからも品質向上や市場事故防止に向けて支援していきます。

第4回集落営農塾（法人経営コース）を開催しました



12月5日、普及所は日高村の「農事組合法人沖名営農組合」を対象に集落営農塾を開催し、組合員8名が参加しました。

組合では今後の事業戦略として園芸品目の導入を検討しており、実証ほを設置して大根を栽培しています。塾ではカット野菜を販売する（株）フードブランを講師に招き、加工用野菜の情勢や出荷について学びました。参加者からは荷姿や量等具体的な質問が出て、近隣の露地野菜を研修したいという意見が出ました。

普及所は、今後も集落営農組織の事業展開を支援していきます。

ニラ農家も注目！環境制御技術（はちきん農業大学）



普及所は12月12日にはちきん農業大学の高吾地域講座を開催し、環境制御技術について説明しました。講座は基礎講座と基幹品目のニラの2つで行いました。JAコスモスニラ生産部で参加を呼び掛けたこともあり、ニラ農家の夫妻2組を含む11名が参加しました。

参加者からは機器導入だけでなく日々の管理についての質問もあり、環境測定の必要性を知り日ごろの栽培管理を見直すきっかけになりました。

普及所は今後も環境制御技術の導入や測定データの分析を行い、ニラの生産力向上を支援していきます。

（農）ヒューマンライフ土佐が柴胡（ミシマサイコ）生産者説明会を開催



11月30日、ヒューマンライフ土佐が、今年度のミシマサイコの収穫・出荷および次年度の作付けについて説明会を開催し生産者を中心に80名以上が参加しました。今年からは2年栽培品種の出荷が増え、品種の分別に特に注意するよう周知されました。

普及所からは、ミシマサイコの実証試験結果や中間報告を紹介し、生産者からは現地への適用や効果について活発な質問・意見が出されました。

普及所ではこれからも薬用作物の生産安定に向け支援していきます。

佐川町の郷土料理、塩納豆の作り方を伝える（郷土料理伝承講習会）



12月18日、佐川町生活改善グループが町の郷土料理の「塩納豆」の伝承講習会を開催しました。町内でも数少なくなった伝承人である野並絹さんを講師に迎え、作り方を学びました。

野並さんから「最後にゆっくり焦げないように糠をまぶした納豆を炒るのがコツ」と教わり、全員で丁寧に作りました。

普及所は伝承講習会の開催にあたって企画から関わり、今後も佐川町の郷土料理が伝承されるよう支援していきます。